

徳川家康没後四〇〇年記念 天下太平 徳川名宝展

2016年 7月30日 [土] - 9月25日 [日]

【開場式】

2016年7月29日(金) 午後2時～

休館日: 月曜日(ただし8月1日[月]、15日[月]、9月19日[月・祝]は開館)

開館時間: 午前9時30分～午後6時 (観覧券の販売は午後5時30分まで)

会期中、展示替を行います。



国宝2点・重文 17 点・大名物、 全国初公開の名刀など、 約 100 点(予定)

徳川家康(1542～1616)は、
およそ 250 年にもわたる太平の世の礎を築きました。

家康没後 400 年を記念する本展では、
その生涯や人となりをしるす遺品、
将軍家・御三家・ゆかりの寺社などに受け継がれた名宝や、
太平の世のもとで成熟した武家・公家・町人らの文化を伝える作品など、
江戸の歴史と文化を多面的に紹介します。

信長・秀吉から家康へとわたった「大名物」の茶道具、
蒔絵の至宝である「初音の調度」(国宝)、
将軍家の威光をあらわす京都・二条城の障壁画(重要文化財)など、
新潟では初公開となる名宝約 100 点が、
全国各地から一堂に会します。

《東照大権現像》四代木村了琢筆、天海賛、17世紀、徳川記念財団蔵

【全期間展示】

絵画、茶道具(大名物・名物など)、婚礼調度、徳川家康遺品、歴史資料ほか 約 100 点

国宝 2 件、重要文化財 17 件、重要美術品 4 件、県・市指定文化財 7 件(予定)

展示構成

第一章 徳川家康 戦国の覇者

世界史上珍しい 250 年にもわたる「太平」の時代＝「徳川の平和」パクス・トクガワーナを築いた徳川家康。
400 年の歳月を超えて今日に伝えられた数々の貴重な作品・資料を通じ、その生涯と個性をたどります。



〔左〕
《雛人形》16 世紀、個人蔵
人質となった幼少の家康を慰めたと伝える品
【全期間展示】



〔右〕重要文化財《大名物 唐物肩衝茶入
銘 初花》13～14 世紀、徳川記念財団蔵
信長、秀吉を経て家康の所有に帰した
【9月13日—25日展示】

豊田市指定文化財《長篠合戦図屏風》18 世紀、豊田市郷土資料館蔵
(浦野家旧蔵)
【7月30日—8月28日展示】



《大黒天図》徳川家康筆、17 世紀、徳川記念財団蔵
【8月30日—9月25日展示】



重要美術品《太刀 銘 国綱》(部分)、13 世紀、徳川記念財団蔵(東京国立博物館寄託)
【全期間展示】 **全国初公開**

第二章 葵の系譜 神君家康の系譜

徳川の治世と血脈の永続に心を砕いた家康は、没後は「東照大権現」として神格化されるに至ります。その権威を示す「東照大権現像」や、贅を尽くした婚礼道具「初音の調度」など、武家文化の粋を紹介します。



〔左〕
国宝《初音蒔絵旅櫛箱》寛永16年
(1639)、徳川美術館蔵
【8月30日—9月25日展示】

〔右〕
《大名物 井戸茶碗 銘 大高麗》16世紀、
徳川美術館蔵
【全期間展示】

第三章 太平の世 威光の演出と都市の表現

江戸、京、大阪などの大都市が繁栄を謳歌した、徳川幕府の治世。その権威を遺憾なく表した御殿障壁画や、都市住民の姿を活写した風俗画など、太平の世の美術の豊かさと広がりをたどります。



〔左〕
重要文化財《二条城二の丸御殿 大広間四
の間 西側「松鷹図」》(部分)、寛永3年(16
26)、元離宮二条城事務所蔵
【7月30日—8月28日展示】

〔右〕《大井川渡口図》英一蝶筆、17世紀、個
人蔵【9月5日—9月25日展示】



《松鶴図屏風》右隻、狩野常信筆、17~18
世紀、個人蔵
【7月30日—8月28日展示】

関連イベント

(1)プレ・イベント:美術講座「茶の湯と殿さま」

日時:2016年7月16日(土)午後2時～(約90分)
会場:当館講堂
講師:荒井直美(新潟市美術館学芸係長)
内容:武将たちの愛した茶の湯の美学を、出品作品の逸話も交えて紹介。
聴講無料・事前申込不要

(2)講演会「太平の世の美術」

日時:2016年7月30日(土)午後2時～(約90分)
会場:当館講堂
講師:さかきばら さとる 榊原 悟氏(本展監修者、岡崎市美術博物館長)
聴講無料・要事前申込

(3)講演会「バクス・トクガワナーへの道」

日時:2016年8月21日(日)午後2時～(約90分)
会場:当館講堂
講師:とくがわつねなり 徳川恒孝氏(徳川宗家18代当主、公益財団法人徳川記念財団理事長)
聴講無料・要事前申込

[講演会(2)(3)の申込方法]往復はがきの往信面に、(1)お名前、(2)ご住所、(3)お電話番号、(4)ご希望の人数、(5)希望の月日・講師名、返信面にもご住所・お名前をご記入の上、「〒951-8556 新潟市美術館 徳川係」宛(町名・番地等不要)まで。7月15日(金)必着。はがき1枚につき2名様まで申込可。

(4)美術講座「江戸のモダニズム」

日時:2016年9月10日(土)午後2時～(約90分)
会場:当館講堂
講師:藤井素彦(新潟市美術館学芸員)
内容:幕末・明治の絵画・建築・工芸を、江戸との接続と切断という観点から再考。
聴講無料・事前申込不要

(5)みどころ解説(当館学芸員のショートレクチャー)

日時:8月6日(土)、13日(土)、27日(土)、9月3日(土)
各日午後2時～(約30分)
会場:当館講堂
講師:当館学芸員
聴講無料・事前申込不要

会 場	新潟市美術館(企画展示室)
会 期	2016年7月30日(土)～9月25日(日) ※53日間 ※開場式・内覧会:2016年7月29日(金)午後2時～ ※会期中、展示替を行います。
休 館 日	月曜日 ※ただし、8月1日(月)、15日(月)、9月19日(月・祝)は開館 ※休館日:8月8日(月)、22日(月)、29日(月)、9月5日(月)、12日(月)
開館時間	午前9時30分～午後6時(観覧券の販売は午後5時30分まで)
観 覧 料	一般:1,200円(前売・団体1,000円) 大学生・高校生:1,000円(団体800円) 中学生以下無料 ※カッコ()内は前売・20名以上の団体・リピーター割引料金 ※リピーター割引:本展の半券提示で2回目以降のご来場は団体料金に割引 ※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料(受付でご提示ください) 〔前売券販売所〕(販売期間6月1日～7月29日) 新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館、 hickory03travelers、シネ・ウインド、DeKKY401、新潟伊勢丹、文信堂 CoCoLo 万代、セブン-イレブン (セブンチケット)、インフォメーションセンターえん ※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せできます。
主 催	新潟市美術館、N S T、公益財団法人徳川記念財団
共 催	新潟日報社
特別協賛	株式会社鳥屋野不動産
特別協力	日光東照宮、久能山東照宮、大樹寺、日光山輪王寺、増上寺、寛永寺、 公益財団法人徳川黎明会、公益財団法人徳川ミュージアム
お問合せ先	新潟市美術館(担当:藤井素彦、松沢寿重、上池仁子) 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9 tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051 museum@city.niigata.lg.jp

徳川家康没後四〇〇年記念「天下太平 徳川名宝展」
開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆開場式（7月29日午後2時～）の取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
- ◆本リリースならびにチラシに掲載の画像は、すべてデータで提供可能です。ただし、ご使用は本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、1部ご送付ください。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	7月29日開場式・開場式以降 (月 日 時頃) ・取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき10組20名様まで
通信欄 (画像の希望等)	